

平成27年12月

各位

一般財団法人日本水土総合研究所
理事長 齋藤 晴美
(公印省略)

ご案内

謹啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から当研究所の業務運営に当たり、格別のご高配を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、当研究所では、毎年、当研究所の職員が担当する調査研究課題の成果の概要を発表することにより、業務に対する職員の技術力向上と職員を派遣している組織の関係者に当研究所について理解を深めていただくことを目的としており、調査研究発表会を開催しております。今年度も、下記により開催することと致しました。

また、発表会に続きまして、交流会を開催いたすこととしており、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

謹白

記

- 日時：平成28年1月29日（金）
 - 調査研究発表会 14:00 ～ 17:30（東海大学交友会館 朝日の間）
(受付開始 13:30)
 - 交流会 17:40 ～ 19:30（" 阿蘇の間）
- 場所：東海大学校友会館（別紙案内図参照）
住所：東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞ヶ関ビル 35F
電話：03-3432-7261
- 調査研究発表会次第
 - 主催者挨拶
 - 業務概要紹介
 - 調査研究発表
 - ①農村振興企画グループ ②水土資源保全グループ ③性能設計技術グループ
 - ④高度施設技術グループ ⑤国際水土グループ
 - 主席研究員発表

※発表テーマ一覧（案）は裏面を参照してください。
※本発表会は農業土木技術者継続教育認定プログラム（CPD）に認定されています。
(CPD 取得目安：3 単位)
- 交流会費：お一人様当り 4,000 円
- 出欠の確認：出欠のご連絡は、メールもしくは別紙 FAX 送信票で **12月22日まで**にお願いいたします。メールでは、発表会・交流会の出欠、お名前や連絡先等を記入して、tyousa@jiid.or.jp に送付してください（様式自由）。 個人 法人
- 問い合わせ先
一般財団法人日本水土総合研究所 調査研究発表会実行グループ 入澤もしくは竹中
電話：03-3502-1586、FAX：03-3502-1329

以上

発表テーマ一覧（案）

区 分	発表テーマ	氏 名
業務概要紹介 (10分)	日本水土総合研究所における調査研究の取組状況	角田 総括技術監
調査研究 発表 (各6分)	① 農村振興企画グループ	徳若 正純
	地方財政措置が農業農村整備に与える影響等の分析	
	多面的機能支払交付金の効果に関する調査分析	小鹿 勇児
	農業の高付加価値化等に必要の基盤整備に関する調査	森澤 健作
	農業農村整備事業の地域経済波及効果に関する調査分析	原田 亘
	土地改良事業が地域の食文化や観光に与える影響等の調査分析	日南 圭太
	② 水土資源保全グループ	草 大輔
	国営地区における用水需要変化への対応方向の検討	
	農地浸水マップ作成手法の検討	
	農業水利施設の省エネルギー化対策の検討	作山 剛
	③ 性能設計技術グループ	竹中 一行
	機場の被災対応に関する研究	
	国営事業地区における技術的課題に関する研究	畠中 哲也
	ため池の機能維持に関する研究	杉山 崇
	豪雨を対象とした土地改良施設管理者による業務継続計画 (BCP)	松永 健
	④ 高度施設技術グループ	愛宕 徳行
	耐震性照査実施上の課題と検討状況について	
	東日本大震災により被災したダム提体の復旧盛立検討事例	渡部 公成
	直線重力式越流型可動扉付コンクリート造ゲートダムの耐震性能照査と耐震対策方針の検討事例	浜田 元
	完成後のフィルダムにおける提体内浸潤線に関する検討事例	石倉 武幸
地下ダムにおける止水壁の遮水性の評価に関する検討事例	松岡 祐仁	
⑤ 国際水土グループ	稲田 善秋	
インフラ輸出戦略の一環として実施したミャンマーにおけるほ場整備パイロット事業の成果と課題		
水田の多面的機能の貨幣価値評価について (観光、景観、農村コミュニティ醸成)	中神 芳春	
簡易診断基準による日本の土地改良区と海外の水管理組織の比較	林 亨	
南南協力事業の成果と課題	小山 知昭	
主席研究員 発表 (各6分)	開発途上国における農村防災計画検討調査	丸山 和彦
	調査研究課題の動向と国営事業所への技術支援	上田 隆茂
	開発途上国における維持管理費低減のための水路の計画設計	橋本 晃
	農業農村施策等が農村地域の人口変動に与える影響に関する分析	山下 正